

< トピックス >

農業研究部一般公開を開催して

総務企画グループ

1. 行事の目的

開かれた研究機関として、多くの県民に対して業務内容の紹介や研究成果の公表を行うことを目的として、去る5月26(土)および27(日)に、農業研究部一般公開を開催しました。

平成11年より農業研究部に隣接する農業大学校が「農大祭」を開催しており、今回これにあわせて、同じ所在地の病害虫防除所と中央農業改良普及センターの協力を得て、一般公開という形の行事としました。

アンケートや参加者の声をまとめましたので、開催概要とあわせて結果を紹介します。

2. 開催結果

1) 成果の展示(5/26・27、本館および東畑記念館)

来場者の合計は、2日間で1,500人弱でした。同時開催されていた農大祭目当ての方の来場が多かったのですが、パネル展示等で示した研究成果に興味を持った方も多かったようです。また、防除所コーナーでは、風船を来場者に配ったのも子どもたちに喜ばれました。また、「子供が研究成果に興味を示した」という声から、「世界の農業事情を知らせてほしい」というグローバルな意見もいただきました。

2) 研究成果発表会(5/26)

今回のテーマは「IT - 情報技術」でした。「ITと農業 - 集落の農業計画づくり支援システム」、「デジタルカメラで測る色と形」および「土壌図を利用して作物の生産力を向上させる」という3課題の発表を行いました。来場者からは、わかりやすい内容であったと好評であり、今後は有機農業や栽培技術関係の話題を提供してほしいとの意見もありました。

3) 園芸相談(5/27)

野菜、果樹、花の3部門の窓口を設けましたが、コンニャク、マコモタケ、サンショウ、ワイルドライス、古代米等の質問もあり、担当は大変でした。24人の方から相談を受けました。

4) クイズラリー(5/27)

園場に問題を設置し、その解答を記入して受付に戻ってくるという内容でした。問題数は10問で、設置個所が分散していたので、全て回るには結構な移動距離でしたが、これを楽しみにしてきたという人も見受けられました。参加者は167人でした。

5) インターネット体験(5/27)

このコーナーは中央農業改良普及センターが担当しました。付き添いの方も含めて延べ90人の方が楽しそうにホームページを閲覧していました。

6) 農場案内

果樹園、野菜温室、水田等を回り、試験実施状況や作物の生育状況について説明しました。参加者は22人でした。

3. 今後について

農業大学校の農大祭は、毎年2,000~3,000人の参加者がある大規模な行事です。今回これに協調した形での行事でしたので、予想を上回る来場者となりました。

中には、農大祭と間違えて農業研究部の建物に入ってしまったという方もみえましたが、多くの方の参加を得ることができました。

「開かれた研究機関になってほしい」、「いつもでも来られるような施設にしてほしい」などという貴重な意見もいただきましたので、来年の一般公開だけでなく、日頃の業務に対しても今回の結果を反映させていきたいと思っています。

(伊藤 寿)



研究成果の展示



研究成果発表会